

着ぐるみ（マツ）使用上の注意事項

1. 大学マスコットとしての行動制限

- 大学マスコットであることから、その使用には品位をもって責任ある行動をすること。

2. 貸出後の保管について

- 人目につかない場所で、着ぐるみに負荷がかからないよう保管すること。
- 破損の恐れがあるため、耳やしっぽ等のパーツを持たないこと。

3. 着替え及び事前確認について

- 中に入る人の適正身長は 170cm（前後 5cm）とする。
- 着用する前に、着ぐるみの一式が揃っているか確認すること。
（ 頭部 ボディ シューズ 花 ）
- 出入りするドアの高さや幅、イベント会場までの導線等を付き添い役と共に、事前に確認しておくこと。
- 段差の上り下りは転倒のおそれがあるためなるべく避け、やむを得ず段差を越える場合は、付き添い役の補助のもと慎重に行うこと。
- 人目を遮断した室内で、施錠できる場所で着替えること。（廊下等は禁止）
- 着ぐるみを着用する際は、肌が直接触れないよう長袖、長ズボン、手袋、靴下を着用すること。
- 一人で着用することは困難なので、1名以上の補助者を当てること。
- 着用後、補助者は着ぐるみが正しく着用できているか確認すること。（中に入る人の身体が、着ぐるみのつなぎ目等から露出していないか注意が必要）

4. 着用後について

- 雨天荒天時又は気温が 30 度を超えている時は、屋外での着用は原則禁止とする。
- 視野が極めて狭いことから、1名以上の付き添い役（誘導担当）を当て、着用者及び周囲の人等に事故・衝突がないよう細心の注意を行うこと。
- 中はかなり高温になるため、着用時間は原則 15 分以内を目安とすること。（気温等の状況により、クールベストや首掛け式ファンなどを使用することを推奨）
- 「マツ」のイメージ統一のため、着用者は声を出さないこと。ただし、着用者の体調不良等により緊急を要する場合はこの限りではない。

5. 記録について

- 記録写真を数枚、返却時にデータで提出すること。

6. 使用後の注意

- 着ぐるみの内側に除菌・消臭剤等（ファブリーズなど）を噴霧し、清潔に保つこと。
（ただし、表側の生地は繊細なので噴霧しない）
- 足裏外面を水拭きすること。
- 頭部の内側分に頭髪等が付着していないことを確認すること。
- 使用後はすぐにしまわずに風通しのよい日陰でしっかり乾かすこと。

7. その他

- 飲食物等で着ぐるみが汚れる可能性のある場所で行動しないこと。
- 借受期間中に、借受者の責に帰すべき事由により、着ぐるみを汚損・破損した場合、借受者の責任と負担により、修補又はクリーニング等を行い、原状に復すこと。